



同窓会会長就任にあたって

1968年度 英文学科卒業 林 邦彦

同窓会会員の皆様におかれましては、日本国内はもちろん世界においても各産業分野でご活躍されておられることを心からお喜び申し上げます。

また、平素は同窓会活動にご協力、ご支援をいただいておりますことに深く感謝をし、厚く御礼申し上げます。

四国学院は、昨年創立50周年を迎え、記念すべき年の同窓会総会において金仲基前会長の後を受けて会長をおおせつかりました。微力ですが、会員の皆様方のご支援とご協力をいただきながら同窓会活動を推進して参りたいと存じますのでよろしく願い申し上げます。

今、大学は、少子化傾向の続く中、学生を選抜する側から学生に選択される側に逆転しています。四国学院も例外ではなく大学・短大の存続において厳しい状況におかれています。めまぐるしい社会の変化に、今何が必要とされているのか社会のニーズを的確に捉え、特色ある大学・短大作りが急務となっています。この様な状況の中で、母校がいつまでも価値ある学校として着実に発展し存続し続ける為に、我同窓会が果たすべき役割は極めて重大です。今期の事業計画の重点活動は、同窓会本部・支部活動の強化・充実、未設置支部の設置、そして学院への学生募集・就職等広報支援活動であります。その為にもまず同窓生同士の親睦を図り、各支部の組織化と本部との連携を深め、同窓会活動の活発化を進めて行くことが最重要課題であります。

今回2回目の発刊となりますが、今後「ロゴスだより」を通して、四国学院の状況や四国学院同窓会、各支部の活動報告をお伝えして参りたいと思っております。

皆様からも、近況報告やご意見、ご要望をお寄せいただき、積極的なご参加を期待しております。

今後、同窓会からの支部会等のご案内が届きましたら是非ご出席賜りますよう、またロゴス館へもお気軽にお立ち寄りくださいますようお願いしております。

最後になりましたが、21世紀に向けて飛躍の年になりますよう皆様方のご健勝を心より祈念いたします。

1999年度 四国学院同窓会 総会報告

日時 1999年10月23日(土) 午後2時～午後5時

場所 四国学院内

四国学院創立50周年を記念いたしまして、四国学院同窓会総会を開催いたしました。

学院からは、橋本牧夫理事長(前理事長)、吉田卓司学長、西脇勉名誉教授、土井省悟教授をお招きし、総勢141名のご出席を賜りました。

ここに、次のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。

総会(聖恵館)

議事(報告承認の部)

1、事業報告(1996年度～1998年度)

金会長より、次のとおり報告があり、承認された。

① 支部結成状況について

1996年8月前総会后、1996年11月に香川西部支部、1998年3月に徳島県支部、1999年3月に広島県支部が再結成された。

② ロゴス館の運営状況について

1996年度オープンから1998年度までの延宿泊数が4379泊となり、多数の方に当館を訪れていただき嬉しく思っている。

③ 短期大学存続問題について

短期大学の定員割れによる短期大学存続問題に関して、1998年6月、同窓会は短期大学全卒業生に対し、「短期大学を分離独立・充実発展することに同窓会が支援協力することについて」のアンケートを実施した。大多数の支持を受けて、同窓会は学院へ存続の提言を行い、現在、短大の入学生募集や就職活動において協力中である。

④ 四国学院創立50周年記念事業について

- i. 同窓会会員名簿の発刊(1999年8月発刊)
- ii. 同窓会会報「ロゴスだより」の発刊(1999年8月発刊)
- iii. 創立50周年記念硬式野球部全国大会出場援助

⑤ ロゴス館建設募金について

1999年8月31日現在で寄付金額8,854,489円、延895名の方から暖かいご支援とご寄付を頂いたことへの感謝を述べた。

2、会計決算報告(1996年度～1998年度)

① 決算報告

同窓会会計・平田晶子氏により、同窓会収入、支出、残高の会計決算が報告され、質疑応答後、承認された。

② 監査報告

同窓会監事・菅照昌氏により、同窓会の財産及び役員業務執行状況が報告され、承認された。



3、事業計画(案)及び会計予算(案)(1999年度～2001年度)

1、金会長より、次のとおり事業計画及び会計予算について提案説明があり、質疑応答後、承認された。

2、事業計画

- ① 四国学院創立50周年記念事業への協力活動
 - i. 記念講演会の共催
 - ii. 国際交流ウィークへの参加
- ② 本部活動の強化・充実
- ③ 既設支部の強化・充実と未設置支部の設置
- ④ 学院への学生募集、就職等広報支援活動
- ⑤ 同窓会会報「ロゴスだより」の定期年発刊



4、役員改選(案)

金会長より、新役員案があり、承認された。新役員は次の方々です。

- 顧問 金 仲基 (1965年度 英文学科卒)・柏原 宏康 (1965年度 英文学科卒)・服部 健二 (1970年度 人文学科卒)
- 会長 林 邦彦 (1968年度 英文学科卒)
- 副会長 岩崎 啓一 (1973年度 人文学科卒)・牧本 憲尚 (1977年度 社会福祉学科卒)
- 書記 岡本 喜久子 (1966年度 英文学科卒)・山本 宏 (1977年度 人文学科卒)
- 会計 平田 晶子 (1972年度 英文学科卒)・増田 美恵子 (1977年度 英語科卒)
- 監事 宮内 忠利 (1968年度 英文学科卒)・山田 昭和 (1960年度 英語科卒)

四国学院創立50周年記念・同窓会総会礼拝(清泉礼拝堂)

総会後、記念礼拝が開催されました。

四国学院同窓会広島県支部長でもいらっしゃいます日本基督教改革派忠海協会 根来 泰治 牧師によります“いのちの流れの聖性”と題してお話をいただきました。学院の教会での神聖な雰囲気にも包まれて、大変好評でした。

懇親会(学生会館)

記念礼拝が終わり、記念写真撮影後、時間を忘れ語らいました。

同窓会支部 2000年現在

◆関東支部

支部長 山田 昭和 (1960年度 英語科卒)

〒253-0025 神奈川県茅ヶ崎市松が丘2-3-41 TEL/FAX(0467)87-3977 E-mail hharbor@d5.dion.ne.jp

近年、大学そのものの在り方が大きく問われており、研究すべき課題も対象となるべき生徒も大きな変化を見せています。加えて、新卒学生の絶対数の減少する中で私大では経営面に於いても存亡の危機に面している時代です。

学院も創立50周年をお祝いして、21世紀を迎える今、世に問うて来た課題や、果たして来た責任を踏まえて、今の時代に存続する意味を「大学設立の理念」に立ち帰りつつ、再び現代に問わなければなりません。

支部では、4年余、同窓会を開催していませんが、21世紀年明けには、開催して、同窓生としての関わり方や、果たすべき責任について考えます。学院のために、深く篤い祈りを捧げています。

◆高松支部

支部長 牧本 憲尚 (1977年度 社会福祉学科卒)

〒761-8073 高松市太田下町2499-1 サービス太田701号 TEL (087) 867-9088

日頃は同窓会活動に深いご理解とご協力をいただき有難うございます。また、昨年10月、四国学院創立50周年に合せ開催いたしました同窓会総会への準備、参加にご尽力有難うございました。卒業後、会ってない先輩、同級生、後輩と懐かしい顔を拝見することができ、盛大に総会を開催することができました。紙面を借りましてお礼申し上げます。

支部活動としては、設立結成以来の設立趣旨に基づいて、母校の栄光と発展に寄与するための活動を継続すると共に、地区割或いは仕事関係と小さな単位での交流会等を開催し支部組織を強化して行く。そして今、学院が直面している受験者数の激減、定員割れについても前年度に続き協力する。この様な時こそ学院教職員と同窓生が協力し、立て直すべきじゃないでしょうか。

来年、高松支部総会(第三回)を開催予定しておりますのでその時にはより多くの会員のご参加をお願いいたします。

◆香川西部支部

支部長 山本 宏 (1977年度 人文学科卒)

〒766-0021 仲多度郡満濃町四条746 TEL (0877) 73-3737・携帯 090-8972-0415

同窓生の皆様方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本年度の支部活動についてお知らせいたします。

① 同窓会会報「ロゴスだより」第2号の発刊。② 本年度中に支部総会と懇親会を開催する。③ 支部会の充実・発展。④ 定期的な役員勉強会。以上4項目を役員会にて決定いたしました。

時あたかも21世紀の扉を目前にして大学も「冬の時代」と聞き及びます。いまこそ同窓生の皆様力があわせ協力し、母校の発展に寄与すべき時ではないでしょうか。同窓生の皆様、お一人お一人が集まり、広く輪を広げていくこそが、明るい未来に向かって大きな力になると確信いたします。香川西部支部の合言葉は一生懸命です。役員一同真心こめて、一生懸命努力致す所存です。同窓会の主役はあなたです。皆様の積極的なご参加、ご協力を心よりお願い申し上げます。

◆徳島県支部

支部長 坂部 裕美 (1964年度 英文学科卒)

〒778-0002 三好郡池田町字マチ2339-3 TEL (0883) 72-1063

1999年度の卒業生を加え、徳島県支部会員も1076名となりました。県内あるいは全国各地で、それぞれの立場で大いに活躍されていることと思いをめぐらせています。本支部におきましては、1999年12月11日に役員会を開催し、支部結成総会以来2年を迎えようとする支部の在り方、活動について協議いたしました。

一つは、組織、役員構成についてであります。現在は各都市の世話役として12名の幹事がありますが、同窓生の増加と年齢層の広がりによって、世話人の数を増やす必要があるということ。

二つには、第2回総会の開催についてでありました。2000年2月27日の月曜日に開催する予定で進めておりましたが、吉日に思うような会場が予約できず、また、会員への周知、勧誘に時間的余裕がなく、やむ無く延期することとなりました。

活力ある支部活動ができますように、皆様のご意見、ご要望をぜひお寄せください。

四国学院同窓会並びに各支部のご発展を祈念いたしますとともに同窓会会員皆様のご健勝・ご活躍をお祈りいたします。

◆広島県支部

支部長 根来 泰治 (1971年度 人文学科卒)

〒729-2314 竹原市忠海床浦2-17-21 TEL (0846) 26-0596

来春に、当支部の総会と懇親会を計画中です。昨年発定時に面目躍如の「会報」を出そうなどと意気込みながら、今だ産みの苦しみの中にいます。母校の危機の時に当支部が今緊急に果たさねばならない役割を思っただけで焦らされています。

ロゴス館宿泊者突撃インタビュー



ロゴスだよりをご覧の皆様、夏の疲れは見られませんか？ 今夏、暑さ真っ盛りの8月6日(日)にロゴス館に宿泊された「陸上同好会OB会」代表の方にインタビューをお願いしました。ロゴス館に宿泊は2回目というOBの方々への感想、在校生、OB会への熱い想いを語っていただきました。

陸上同好会OB会代表 住本直章さん(1997年度 社会福祉学科卒)／荒井崇行さん(1999年度 教育学科卒)
中内一幸さん(1999年度 教育学科卒) インタビュア 会報委員 飛田由香(1983年度 英語科卒)

早速ですが、今回ロゴス館を利用した理由を聞かせて下さい。

OB まず値段がリーズナブル。(笑) それと卒業生として母校に何かお返ししたい意味もあり、又在学中よりこの建物があるのは知っていたので一度泊ってみたいから。

陸上同好会OB会は、よく開かれているのですか？

OB 2年に1回開いています。今年は3回目。会合は「一富士」、宿泊はロゴス館を利用しました。2回目の時もロゴス館を利用しました。1回目の時は、ロゴス館がまだ出来ていなかったの、在学学生などの知り合いの所で宿泊しました。

今回のOB会は前回と比べてどうでしたか？

OB 前は30名程度の参加でしたが、今回はOB、在校生とで22名の参加です。もう少し集まればと思ったのですが、幅広い年齢層のため呼びかけにも難しさを感じました。

—そうですね。幹事の方の年齢層によって集まりが違いますから、ここで出席できなかったOB会の友人にメッセージをどうぞ！

OB 「会えなかったのは、残念です。次回はぜひ顔を見せてください！」

ロゴス館を利用して設備等の感想はいかがですか？

OB エアコンがよく利いた。(笑) 環境が静かなのでよく眠れた。

改善してもらいたい点がありましたら、今後のために聞かせて下さい。

OB 鍵を忘れてしまい、他の宿泊者に開けてもらった。門限を過ぎたのもあったのだが。(笑)

■ロゴス館利用案内 お問合せ・お申込は…平日9:30~17:00

■四国学院同窓会事務局 ☎0120-459500 FAX 0877-63-4599

旅行の宿・同窓会場としてお気軽にご利用ください。

1階ホールのみのご使用も可能です。週末は、大変混み合いますのでお早目にご予約を。休館日／お盆・年末年始

同窓生からのお願い) 癒しの四国学院大学時代

四国明治乳業(株) 曾根 あゆみ(1996年度 社会福祉学科卒)

「拜啓 皆様いかがお過ごしでしょうか……」

月日が経つのは早いものです。私も卒業して三年が過ぎ、ふと学生時代の友人に突然の手紙を書きたい気分になる頃であります。三年前、喜怒哀楽を身体一杯で感じた日々を懐かしみながら、久しぶりの近況報告をしたくペンを執りました。社会人四年目という今年は、大学時代で言うところちょうど卒業論文を作成するまとめの年であります。来年には一人前の社会人としてデビューが出来るかと言うとまだ不安があるというのが正直なところ。ただ今は、日々の仕事に懸命に精を出しています。そして、この夢中な毎日の中に、潤いのオアシスを運んでくれるのが学生時代の友人なのでしょう。

この友人こそ 今流行の「自分を癒してくれるもの」ではないかと感じています。私の生活に欠かせない宝物を与えてくれた四国学院での四年間に感謝いたします。



大学祭のご案内 11/3~5

お問合せ 第39回 四国学院大学 / 四国学院短期大学
大学祭事務局 事務局長 山下 拓郎 TEL(0877)62-3944

日頃は学園祭活動に深いご理解とご協力をいただきまして誠に有難うございます。

さて、本年度は「三十九年間吟醸、熟成ぐいっとぐいっと四学祭」のテーマのもと、11月2日に前夜祭、11月3日から5日に本祭典を行うことになりました。

本部企画としては前夜祭に男女の四学No1を決める「綺羅星」3日にはカラオケ企画「VIBRATION2000」3日から5日にかけて学外や学内の人に場所を貸し出して「フリースペース」という名のフリーマーケットを行います。また、学祭の目玉といたしまして、芸能人企画「石田純一トークショー」を行います。内容としては学生代表5人と石田純一さんと恋愛トークバトルを繰広げてもらいます。ほかにさまざまな企画を沢山ご用意しております。皆様お誘いあわせの上ご来場ください。

これからも自治会活動にご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

